



一般社団法人 都城国際交流協会会報

ミア ニュース
MIA NEWS

編集発行: 一般社団法人 都城国際交流協会

〒885-0073 都城市姫城町4-1 都城市役所北別館 都城市国際交流センター

電話 0986-23-2295 FAX 0986-23-3223 E-mail mia@btvm.ne.jp

http://miyakonojo-mia.com/

～協会からのお知らせ～

◇TALK&TALK英会話サロン 参加者募集!

食事をしながら、ネイティブスピーカーと気軽に雰囲気英会話を楽しみませんか。

日 時: 11月11日(火) 18:30～20:30

場 所: ポポラマーマ 都城駅前店

(都城市栄町4672-5 イオンモール都城駅前店1F)

参加料: MIA会員 500円 非会員 1000円

定 員: 9名(会員優先・先着順)

※飲食店を利用させていただきますので1人1品、飲み物か食べ物の注文をお願いします。飲食代は別途各自ご負担となります。

※会場の都合で、当日注文されるメニューを前もってお聞きする予定です(可能な範囲で)。詳細はお申込みの際にお知らせします。

お申込み: (一社)都城国際交流協会(MIA)まで
電話またはEメールでお願いします。



「外国人のための生活安全交流会」参加者募集!

都 城 市 に住んでいる外国人市民のための防災講座

です。火事・119番のかけ方を楽しむ勉強します。

日 時: 2025年11月21日(金曜日) 14:00～15:30

場 所: 都 城 市 コミュニティセンター

2階 研修室

参加費: 無料

定 員: 15人

対 象: 都城市に住んでいる外国人市民

言 葉: かんたんな日本語であります。

English(英語)、中文(中国語)、Монгол хэл(モンゴル語)は通訳ができますので、必要な人は協会に相談してください。

お申込み: 2025年11月7日(金曜日)までに、
電話かメールでお申し込みください。



◇ワールド・フェスタ in みやこのじょう2026

第14回「ワールド・フェスタ in みやこのじょう2026」に参加して下さる団体、個人、ボランティアスタッフを募集します。(都城市又は三股町にお住いの方)。皆様のご協力をよろしくお願いします。

日 時: 2026年2月8日(日) 12:00～16:30

会 場: 都城市総合文化ホール(MJ)

イベント内容: 海外の国や地域の紹介など。

募集対象: 国際交流、国際協力や多文化共生など
ワールドフェスタの目的に沿うもの。

募集内容:

①国や地域紹介ブース

体験交流できるもの。展示のみは不可
(モンゴル、中国、アメリカは、都城市国際交流員が担当予定ですので除きます。)

②国際交流、国際協力等の団体活動紹介コーナー パネル展示

③個人、団体でのステージ発表

歌やダンスなど。時間は3分～10分以内

④ボランティアスタッフ

- ・前日の会場設営準備(荷物運搬やパネル設置など)
- ・当日のブース準備、終了後の片付け
- ・国紹介ブース補助、
- ・ステージ受付・案内
- ・ステージ裏補助等

ポスターの原画を描いてくださる方も募集します!



申込み締切: 2025年11月14日(金)

申込み・問合せ: いずれの募集も事前の申込みが必要です。団体名、お名前、参加内容を電話、E-mailでMIA事務局までご連絡ください。

◇韓国料理教室を開催しました

2025年9月27日にソン・ヨンジュさんを講師に韓国料理教室を開催しました。

韓国の現代の発展状況や食文化等の話があり、チヂミ、テジプルコギを作りました。また、韓国で誕生日に食べられる「わかめスープ」を、ソンさんが特別に作って下さいました。

たくさんのご参加ありがとうございました。





「パン作り&ティーチング イングリッシュ in ジャパン」 ドイツ出身ルカス・コッホさんの記事

こんにちは、ルカス・コッホです。今年の3月に都城に移住し、都城市教育委員会が雇用する小学校のALT(外国語指導助手)として働いています。ドイツ出身で、ゴスラーという小さな町で生まれました。街の中心部には中世の街並みが今も残り、美しい建築で知られていますが、私が育った頃は、眠たくなるほどのんびりした場所だったのです。もしかすると、帰省するたびに直ぐにまた旅に出たくなってしまうのは、そのせいかもしれません。

ドイツの高等学校「(ギムナジウム)と呼ばれる」を卒業した後、アメリカでパークレンジャーとして働き、カリフォルニア州にある様々な公園の自然保護に携わっていました。大変苦勞していたのですが、最もやり甲斐ある仕事のひとつとなりました。その後、英語の教師を目指すことにし、一部の教育はペンシルベニア州のクツタウン大学で学び、残りはドイツに帰国してから修了しました。

日本に来ることになったきっかけは、少し長い話です。すべては父から始まりました。父はパン職人で、40年前のある日、不思議なアイデアが生まれました。ドイツ出身の数人のパン職人たちが日本に招かれ、日本各地を巡りながら、ドイツ式のパンやケーキの作り方を紹介することになったのです。父もプロジェクトに参加し、今でも日本での出来事をよく話してくれます。「まるでセレブのような待遇を受けたんだ」と。子供の頃から、父が日本で出会った友達のサインだらけの下駄が、目立つようにいつも家に飾られていました。その友だちの一人、池田隆さんは、2年間うちで家族と一緒に住んでいたこともあります。今でも毎年、私たちの家族はお互いにプレゼントを送り合っています。隆さんの家からは折り紙の本やドラえものの



漫画や緑茶など、うちからはクリスマスの飾りやおとぎ話の本、ハーブティーなどを贈っています。

来日したきっかけは、この縁によるもので、私にとって日本は魅力的な存在だったのです。アメリカから帰国したあと、友達に日本旅行に誘われ、隆さんとの20年ぶりの再会も果たしました。広島でALTとして働いている人と話をし、彼から「日本で英語を教えること」について話を聞いたことが、私がALTになりたいと思ったきっかけとなりました。

簡単だったわけではありません。その旅行から帰った直後にコロナ禍の時期が始まり、さらに、再び応募するための十分なお金とチャンスがあったときには、英語の母国語話者ではないと、より大変になるということを知りました。とはいえ、2024年、ついに宮崎市の英会話学校で働き始めました。はじめての一步としては良かったのですが、私的には公教育の現場でこそ一番くつろげると気づき、都城市で改めて生活を始めました。

教えること以外では、人や自然に関するあらゆること、また、日本文化により深く触れることも大好きです。弓道も週に四回ほど練習をしていて、最初に通い始めた宮崎市の小さな道場は、今でも私にとって日本の場所の中では、最も大切な場所です。サイクリングや登山も楽しめます。釣りもしたいと思っていて、宮崎市では現在ベイキング(お菓子やパン作り)のクラスも指導しています。可能であれば、都城市でも教えられたらいいなとも考えています。温泉に行くことやボードゲームで遊ぶことも好きで、何事にも誘いがきたら「はい」と答えます。

私にとって、都城は想像もできないほど平和に過ごせる場所となりました。いつかは、夢として、ここでの文化や人々の心と深くつながれるレベルの日本語を身につけたいと思っています。表面をかけばかくほど、ますます探究したくなります。



左から隆、姉、そして私のスリーショット



左から父と隆と私



「教師の日」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

10月5日は、モンゴルの教師の日です。もともとは1967年から毎年2月に祝われていましたが、2014年から国際的な世界教師デーに合わせて、10月5日に祝うようになりました。この日には、学校や地域で様々なイベントが行われます。子どもたちは先生に感謝の気持ちを伝えたり、コンサートやパフォーマンスを披露したりします。今回はモンゴル独特な教師の日の過ごし方を紹介したいと思います。

この日は、高校3年生が教師の代わりを務めます。モンゴルの多くの学校は、小中高の一貫となっているため、上級生である高校3年生が、小学生や中学生の教室に行き、実際に授業を行います。授業の内容は、事前に担当の先生と相談しながら1週間ほど前から準備を進めます。教材を用意したり、教え方を練習したりと、まるで本物の教師のように真剣です！

当日は、普段の制服姿ではなく、シャツやスーツ、ドレスに着替えて登場します。本物の教員かと見間違ふほどです(笑)。また、教室では実際に「先生」と呼ばれます。

一方で、先生たちはこの日、生徒になります。教室の後ろの席に座ってノートを取ったり、久しぶりに制服を着て、少し恥ずかしそうにしながらも、学生時代を思い出して楽しそうに過ごします。いつもは厳しくて近寄りがたい先生も、この日ばかりは「真面目に聞いてください！」と高校生に注意されて、苦笑いする場面もあります！何より、この日は生徒たちからたくさんの手紙やプレゼントをもらえる、先生にとって特

別な日です。日々の忙しさや大変さを少し忘れて、「ああ、先生になってよかったな」「この仕事って本当に素敵だな」と、しみじみ感じる事ができる特別な日でもあります。

私も、高校3年生の時の教師の日に、日本語の授業を担当し、それがきっかけで「将来、日本語の先生になりたい！」と決めました。そして大学を卒業し、実際に先生になってみると、やっぱり楽しい！特に教師の日は、年に一度の“ご褒美デー”のように感じていました(笑)。



2017年 中学校の担任だったヒシゲさん
(前列右から4番目)



「双節同慶」

～都城市中国国際交流員 謝均妮さんによる中国紹介～

今年の中国では、国慶節(10月1日)と中秋節(旧暦8月15日)がちょうど同じ時期に重なりました。二つのお祝いが一緒になることを中国語で「双節同慶」と言います。国全体が一気にハッピームードになる、とてもにぎやかな時期です。例年より休みが1日長くなり、海外旅行も大人気です。知り合いの中にも、日本に遊びに来る予定の人が何人かいます。

国慶節は中国の建国記念日にあたり、街中に国旗が並び、花火やパレードで盛り上がります。長い休みを利用して帰省や旅行をする人が多く、何億人の大移動とも言えるほど。鉄道や空港は人でいっぱいになり、毎年ニュースでも話題になります。そして、中国では祝日になると高速道路の通行料金が無料になるため、自家用車で旅行する人も多いのです。



国旗の飾り

中秋節は日本の十五夜に似た祝日で、家族が集まり、満月を眺めながら月餅を食べます。丸い形には「円満」という願いが込められています。北方の月餅は素朴な魅力があります。皮がやや厚めで香ばしく、餡はあずきやナツメ、胡麻など、しっかりとした風味が楽しめ、食べごたえのある伝統的な味わいです。



雲南ハム月餅

南方の月餅は餡の種類が豊かで、蓮の実(蓮蓉と呼ばれる)や塩漬け卵黄、ナッツ、ハムなど、甘味と塩味のバランスを味わえるのが特徴です。最近ではアイスクリームや抹茶など、新しい味も登場していて、若い人たちに大人気です。

にぎやかな国慶節と、



山西空心月餅

しっとりとした中秋節。二つが重なる「双節同慶」は、中国ならではの特別な季節です。



中華街の中秋飾り

編集部より

先日、市内高校の「郷土探求」の授業の中間発表に参加しました。生徒たちは、医療、子育て、教育、マナーなど幅広いテーマから、国際交流や多文化共生の促進に向けたアイデアを発表してくれました。中でも、外国人住民への情報発信にSNSを活用する提案や、日本の文化を楽しく伝えるワークショップの企画など、若い感性ならではの柔軟で実践的なアイデアが印象的でした。身近な視点から地域の課題に向き合い、他者との共生を自分ごととして考える姿勢に、大きな可能性を感じました。今後の探求活動でどのような結論が導かれるのか、非常に楽しみです。

〔富吉〕

みなさんこんにちは

やっと朝晩は過ごしやすくなってきましたね～。

私は秋生まれで、好きな季節も秋なのですが、近年は夏からすぐ冬になってしまうので残念です…。この時期はスポーツするのもいい季節。そして温泉に入るのもいいですね(´・`・´)

中瀬家は、家族全員温泉好きなので年に1回は温泉旅行や日帰り温泉に行っていました。物価高騰やインバウンド需要のおかげで、旅館の金額が数年前の2倍ほどになり(´・`・´)気軽にいけなくなりました。子どもたちには「予約が取りづらいとよね～」と濁しつつ、トリパゴやアゴダと晩めっこするのが楽しい毎日です(*^*) お得な料金で予約できた時の喜びをわかってくださる方、いらっしやいませんか??

〔中瀬〕

最近、涼しくなってきました。道端にたくさんの彼岸花が咲いていて、ちょっとびっくりしました。あれって、誰かが植えたのか、それとも自然に生えてきたのか、いつも不思議に思います。気づくと、あっという間にいっぱいになっているんです。

中国でもこの花は「彼岸花(Bianhua)」や「曼珠沙華(Manzhushahua)」と呼ばれていて、日本と同じくあの世につながる花の象徴です。でも、日本みたいにどこにでもあるわけじゃないです。こんなに真っ赤な彼岸花を見ると、(年齢がバレそうですが…)昔観たアニメ『地獄少女』を思い出します。——いっぺん、死んでみる?

〔謝(しゃ)〕

皆さん、アメフトをご存知ですか?

試合がどの国で行われるかもご存知でしょうか?「アメリカだよん～」というふうに答えた方は、一応半分正解で半分不正解です。確かに、流石のアメフトの発祥地であるアメリカには、議論の余地がないほど一番強いチームがアメリカの各地に集まっています。しかし実は、現在世界中でアメフトの激闘が繰り広げられているのです!「因みに、日本も含めてね(´・`・´)」

日本では、Xリーグというアメフトの組織が存在し、その頂点で活躍するチームは大きく二つのリーグに分かれています。XI SuperとXI Areaの二つのディビジョンに。Xリーグは昇格制度を採用しており、XI-Superは日本で最も強い選手とチームの集まり場

となっております。

そして今週末、私は佐賀に旅行して、XI-Superの1試合を観戦してきますぞ!!今までオンラインで沢山のXリーグの試合を生配信で観てきましたが、対面は初めて。まだ探し中なので、別に推しチームがあるわけではないものの、一応福岡SUNSの応援をする気持ちで盛り上げさせていただきます(´・`・´)。

うわあああ、日本でアメフトの試合を生で見られるなんて、まるで奇跡みたい…とってもワクワクしています(´・`・´) (追伸、観戦するのは10月12日の試合だ)

〔セス〕

都城では、暑い夏も終わり、朝晩がだんだんと涼しくなってきましたね。私の故郷ウランバートルでは、9月に入るとすっかり秋に変わり、最低気温は早くもマイナス1度ほどになります。そんな時期に、私たちモンゴルの人が喜ぶことがあります。それは、「セントラルヒーター」と呼ばれる暖房の開始です。モンゴルでは、毎年9月15日から翌年の5月15日まで、セントラルヒーターが24時間稼働します。この暖房は、3か所にある火力発電所によってウランバートル全体に供給されていて、外がマイナス30度を超える厳しい寒さの日でも、家の中では快適で暖かく過ごすことができます。

〔ヒシゲ〕

中学の同級生が串間史談会の事務局長をしています。串間市の歴史を調べていて、先日、その成果発表を串間市文化会館で聞きました。私は串間市に18年間住んでいましたが、初めて知ることばかりでした。後日、その同級生と会い、2時間ほど話しました。鹿児島や都城の薩摩藩歴史については、それなりの記録もあり書籍化されている。串間市はそれがない、資料を残しておきたいと言い、その作業はとても楽しいと話していました。数か月前、けがをしてしまい、体が少し不自由でしたが、気力は充分で、元気な同級生に励まされました。

〔藤元〕

娘の宿題の丸つけは脳トレだと思っています。ローマ字を書く宿題がここ最近で一番悩みました。お父さんは「otousan」ではなくて、uは書かないで2つ目のoの上に伸ばす記号「^」をつける?!.パン屋は「ん」の「n」の後に「*」(アポストロフィ)をつける?!.蝶々はtyotytyoで、1つ目のoの上に伸ばす記号をつける?!.ちょー難しいじゃん!

〔迫田〕

先月、韓国出身の孫さんの料理教室でチヂミの作り方を習い、お家で作ってみたら大好評でした。食べたいものを入れるチヂミ、お好み焼き風チヂミ、ピザ風チヂミとか勝手にアレンジしているうちに、気付いたら冷蔵庫の中を処分するチヂミになりそうだったので、そろそろ最初に習ったバージョンに戻します。

〔ソヨ〕